

**現代的な諸課題に対応できる
免許状更新講習に係る枠組み・内容の改善について
(論点メモ)**

1. 課題認識

グローバル化など社会の様々な変化を受けて、教員が現代的な諸課題に対応する指導力を身につける必要性が指摘されている。免許状更新講習が、教職生活全体を通じて学び続ける教員を支援する場の一つとして適切に機能し、教員が適時に最新の知識・技能を修得することができるようにする必要がある。

2. 現 状

- 免許状更新講習は、必修領域（12 時間）と選択領域（18 時間）からなる。
- 必修領域は、省令において 4 項目（8 内容）が定められているが、範囲が広すぎるために十分に各項目を扱えないことや、社会の変化に応じた教育課題に関する内容を適時に扱えないことが課題として指摘されている。また、選択領域に比べ、受講者の評価が低くニーズとの齟齬が伺える。
- 選択領域は、各大学が任意に内容を定め講習を開設しているが、教員が、勤務する学校種や所有する免許種に応じた内容の講習ではなく、単なる興味関心や日程・場所の都合に応じた講習を受講する例が指摘されている。

3. 検討事項

教員が勤務する学校種や所有する免許種に応じて現下の教育課題を学ぶことのできる環境を充実するため、新たに選択必修領域を設けるべきではないか。

(論点例)

- ① 必修・選択必修・選択の各領域は、各々何時間程度とすることが適当か。
- ② 必修・選択必修の各領域について、どのような項目・内容が考えられるか。
- ③ 必修・選択必修の各領域について、どの程度の項目・内容数が適当か。
- ④ 講習方法や講習講師について、どのような考慮が必要か。
- ⑤ 各開設者の専門分野や地域毎の開設機関数・受講者数の相異、対応講習数の少ない免許種所有者などを踏まえ、どのような配慮が必要か。
- ⑥ 10 年経験者研修等との役割分担について、どのように考えるか。

1. 更新講習の枠組み

<現 行>

1 日 6 時間	必修 全校種・免許種共通 1 2 時間
1 日 6 時間	
1 日 6 時間	
1 日 6 時間	選択 1 8 時間
1 日 6 時間	

2. 現代的な諸課題の例

- 小学校外国語活動
- 道徳教育
- 教育におけるICT活用
- 特別支援教育
- いじめ対策